

耐熱難燃クロス（PBO＋特殊耐熱繊維）



●特徴

- ・優れた引張り強度！
- ・優れた耐熱性と難燃性！



●用途

- ・耐熱カーテン
- ・耐熱防火服
- ・耐熱被覆材

耐熱難燃クロス（PBO＋特殊耐熱繊維）

PBO繊維と特殊耐熱繊維を混紡した新しいタイプの耐熱難燃クロスです。

PBO繊維は有機繊維の中で、LOI値が68と最も高い繊維です。特殊耐熱繊維は無機繊維で、不燃であるが、屈折強度が低く繊維が折れやすいという欠点をPBOを混ぜることで改善しています。

用途：

耐熱カーテン、防火服生地、耐熱手袋、耐熱被覆材、耐熱ローラー被覆材。

規格：

商品番号：KSF1130

サイズ：W1000mm x L 30M／巻

厚み 1.6mm 重量 700～750g／㎡

構成(100mm/本) 縦 100～104 横 60～64

引張り強度(N) 縦 1360 横 670

比重 0.8～0.9

強熱減量率(%) 15～17

※LOI値とは：

限界酸素指数のことで、窒素と酸素の混合気体中で物質が燃え続けるために必要な最小の酸素量のことである。

LOI値が高いほど燃えにくく、低いほど燃え易いことになる。

空気中の酸素濃度は約21%です。一般にLOI値26以上が難燃性と言われている。

PBO繊維とは：

有機系繊維の中では最高レベルの引張り強度・弾性率を持つ繊維で、防弾チョッキ、コンクリート補強材など幅広く使用されている。パラ系アラミド繊維と比べ、2倍の強度を持ち、100℃高い分解温度を示す。（分解温度 650℃）

※正式名：poly(p-phenylenebenzobisoxazole)「ポリ（パラフェニレンベンゾビスオキサゾール）」

加工・販売：

〒538-0042

大阪市鶴見区今津中3-7-34

菊地シート工業株式会社